

ひめだ高宏のニュース

No.1315

20.10.27

核兵器禁止条約批准50か国

人類史上初めて核兵器を違法化する核兵器禁止条約の批准国が50か国(2面に記載)に到達し来月1月22日に発効する運びとなりました。北朝鮮・北極の核開発は止められ核・平和の運動の力は素晴らしい。私たちは、この好時代に生きることが出来ます。

地域子育て支援施設の前減

市内に於て実施している地域子育て支援施設が10か所に減らされるという事だが、その基準となる10ブロックの0〜4歳の子どもの人数が大きく減っているのでは

ないかという問い合わせが来ました。先日の決算審査で日本共産党の市議会議員が質問し、その点について質問し、お答えが来ました。10ブロックは地域の人口が減少している

が、10ブロックに施設を配置する問題がある。10ブロックの子育て支援施設は、10ブロックは市の長期計画の地域計画で定められていて、認定しても園が増える。未就園の子も増えているから施設を減らすという理由を述べています。私もこの説明は納得できません。

地域区に於いて長期計画は日本共産党の連合自治会が10ブロックを構成し、各ブロック内で複数の連合自治会が有組織的に活動し、住民自治が進められています。そこで今回提案する地域計画も、この10ブロックの区に於いて

が、10ブロックに施設を配置する問題がある。10ブロックの子育て支援施設は、10ブロックは市の長期計画の地域計画で定められていて、認定しても園が増える。未就園の子も増えているから施設を減らすという理由を述べています。私もこの説明は納得できません。

みなさんの願いをまっすぐ市政に届けます。

フワ〜の人々



1098 議事録作成したの国民の普請行為



なまじり、10ブロックに施設を配置する問題がある。10ブロックの子育て支援施設は、10ブロックは市の長期計画の地域計画で定められていて、認定しても園が増える。未就園の子も増えているから施設を減らすという理由を述べています。私もこの説明は納得できません。

今週のフワ〜の人々

(その261)

教えること類みしました。2面に、市が定めた地域の区分割と人口、0〜4歳の人口を基にしました。これも2015年の国勢調査の数字です。

たこのこと。このことが、今回の改訂版には、その批判を合意書をまわすこと削除していき、しんぶん赤旗が指摘しています。森友疑惑で国有地の格安売却文書記録の廃棄や改訂版、核を見よの会、待合名簿の廃棄、自衛隊の活動記録の隠しなど、などの公的記録を廃棄したり隠ししたことは自ら認められたかのような自著の改訂版。こんな覚悟の政治家は要りません。



ひめだ高宏

スガ首相が2012年に出版した自著「政治家の覚悟」の2020年改訂版が発行されたという事です。初版本では民主党政権が東日本大震災対応の会議で議事録を作成しなかったことについて、「政府があらゆる記録を克明に残すのは当然で、議事録は最も基本的な資料です。その作成を怠ったことは国民への不信任行為だと批判している

日本共産党

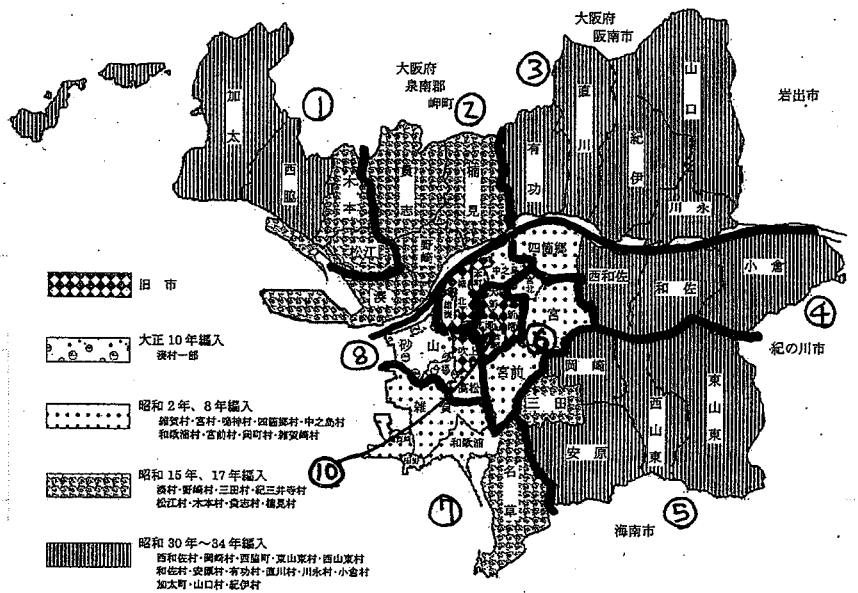
核兵器禁止条約発効へ
核兵器禁止条約が、発効に必要な50カ国・地域の批准を達成しました。史上初めて核兵器を違法化する国際条約が2021年1月に始動します。

米ロ英仏中の核保有五大国をはじめ、核兵器に固執する勢力は、禁止条約を敵視し、その署名国と批准国が広がることを妨害してきました。それだけに、禁止条約発効の確定は、日本の被爆者をはじめ「核兵器のない世界」を求め多くの政府と市民社会が、大国の妨害をのりこえて達成した画期的な成果です。

被爆国にふさわしい日本をめぐり、国民的な運動をたげることが急務です。日本共産党は多くの人たちと固く連携しながら、市民と野党の共闘を進展させ、核兵器禁止条約に参加する新しい政権をつくるため、全力を尽くします。

ブロック番号	地区	0~4歳人口	総人口
②	貴志、野崎、湊、棒見	2,651	59,246
⑥	宮、宮前、宮北	1,731	45,295
③	有功、直川、紀伊、川永、山口	1,589	20,831
④	西和佐、和佐、小倉、四箇郷	1,577	19,655
①	松江、木本、西脇、加太	1,564	43,223
⑦	雑賀、雑賀崎、田野、和歌浦、名草	1,563	46,617
⑤	三田、岡崎、安原、西山東、山東	1,530	17,654
⑧	吹上、砂山、今福、高木	775	25,045
⑨	本町、城北、雄湊、中之島	611	20,129
⑩	新庄、大新、広瀬、芦原	421	14,906

和歌山市の行政地区と市域の変遷



*合併による市域の変せん図に現在の地区割を入れてみました。連合自治会のブロックに子育て支援施設を各1ずつという考え方は合理的とは言えません。

核兵器禁止条約を批准した国 (20年10月25日現在、50カ国)

アジア 6	タイ (17年9月20日)、ベトナム (18年5月17日)、ラオス (19年9月26日)、モルディブ (9月26日)、バングラデシュ (9月26日)、マレーシア (20年9月30日)
大洋洲 10	パラオ (18年5月3日)、ニュージーランド (7月31日)、クック諸島 (9月4日)、サモア、バヌアツ (9月26日)、キリバス (19年9月26日)、フィジー (20年7月7日)、ニウエ (8月6日)、ツバル (10月12日)、ナウル (10月23日)
中東北アフリカ 1	パレスチナ (18年3月22日)
アフリカ 6	ガンビア (18年9月26日)、南アフリカ (19年2月25日)、ナミビア (20年3月20日)、レソト (6月6日)、ボツワナ (7月15日)、ナイジェリア (8月6日)
中南米・カリブ海 21	ガイアナ (17年9月20日)、メキシコ (18年1月16日)、キューバ (1月30日)、ベネズエラ (3月27日)、コスタリカ (7月5日)、ニカラグア (7月19日)、ウルグアイ (7月25日)、セントルシア (19年1月23日)、エルサルバドル (1月30日)、パナマ (4月11日)、セントビンセント・グレナディーン (7月31日)、ボリビア (8月6日)、エクアドル (9月25日)、トリニダード・トバゴ (9月26日)、ドミニカ (10月18日)、アンティグア・バーブーダ (11月25日)、パラグアイ (20年1月23日)、ベリーズ (5月21日)、セントクリストファー・ネビス (8月9日)、ジャマイカ (10月23日)、ホンジュラス (10月24日)
欧州 5	バチカン市国 (17年9月20日)、オーストリア (18年5月8日)、サンマリノ (9月26日)、アイルランド (20年8月6日)、マルタ (9月21日)
中央アジア 1	カザフスタン (19年8月29日)